

県産廃協会青年部協議会産廃税講習会

導入に対し県側と議論

県は周知徹底を図る意向



県側に意見を述べる会員 鹿兒島市のレクストン

県が産業廃棄物の抑制や減量化、リサイクルの推進等を目的に17年4月1日から導入する産業廃棄物税についての講習会...



講演に聴き入る参加者 鹿兒島市のジェイドガーデンパレスで

この制度は非常に酷ではないか」「徴税の積算根拠など、処理業者が具体的な理解を得られないままの導入には賛成できない」などと県側に異論を唱えた。

「業界関係者に対しての説明不足は確かに否定できない」とした上で、「今後、説明会などさまざまな機会を設けて、導入に対する周知徹底を図っていきたい」などと述べたほか、県議は「これらの意見は集約して、納得した上で導入できるような慎重に検討、審議する必要がある」などと話した。

産廃税は、県が循環型社会の形成に向けて産業廃棄物の排出を抑えるなど適正な処理を図る施策に要する費用に充てるために課す法定外目的税。県内の最終処分場や焼却施設に産業廃棄物を搬入

CALIS/EC推進セミナー 実際操作する必要性強調 CALIS/EC推進セミナーが27日、鹿兒島市のジェイドガーデンパレスで開かれ、本県をはじめ、県外から約150人が参加して間近に迫る電子入札について学んだ。

する排出事業者、または中間処理業者などに重量に応じて課税するもので、



研修内容を業務に反映してほしいと挨拶する益満所長 鹿屋市のホテルさつき苑で

肝属地域農業農村整備

構造物の点検事項等説明

16年度肝属地域農業農村整備事業研修会(主催・村整備事業研修会)が26日、鹿屋市属地域農業農村整備事業推進協議会、共催・

ECの狙い、電子入札コアシシステムの導入状況について説明。このなかで「上から言われてやる、隣がやらないといふことではない。まずはやってみることが大事」と実際に操作することの必要性を強調した。

県建設業協会 16年度第1回雇用改善パト

来月建築支部皮切りに

- 県建設業協会(川畑俊彦会長)の16年度第1回会員の安全管理・雇用改善パトロール診断は、11月8日の建築支部を皮切りに26日の出水支部まで県内19支部で実施する。診断には同協会本部診断員のほか、各労働基準監督署長らが参加する予定。

かれ、県建設業協会肝属大根占支部会員やコンサルタント、町・県の関係者ら約120人が参加して農業農村整備事業の動向や健康管理・コンクリート構造物の設計施工等について学んだ。

研修では、春田隆秀鹿屋保健所長が「糖尿病と喫煙の害について」と題し健康管理について講話。また、有村実弘(サタコ)コンサルタント技師長がコンクリート構造物の設計施工のチェック事項について講義した。

県建築協会(上山一吉会長)は27日、始良郡蒲生町の鹿兒島高専で開く。

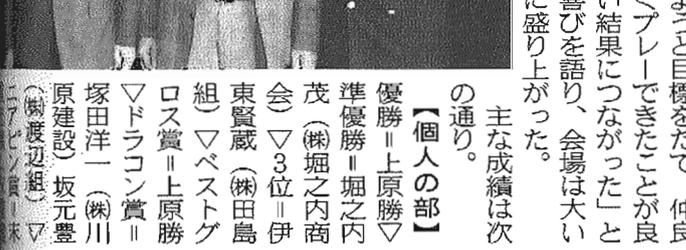
16年度県職業能力開発促進大会は11月6日午前10時から、鹿兒島市のごしま県民交流センターで開く。

県建築協会第40回ゴルフ大会

個人優勝は鹿兒島西チーム



個人優勝の上原勝さん(上)と団体優勝の鹿兒島西チーム



16年度県技能まつり 来月6、7日開催 県技能祭実行委員会(森山清隆委員長)は11月6、7日の両日、鹿兒島市のごしま県民センターで「16年度県技能まつり」を開く。